

令和3年度 地方創生推進交付金事業効果検証一覧表

■評価の基準

A 地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合
B 地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
C 地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
D 地方創生に効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

外部有識者からの 事業全体に関する意見
・効果検証に当たり、 KPIによる定量評価と併 せ、定性評価もできるよ う検証方法を検討すべ き。

■各事業の評価

No.	交付対象事業の名称	実績（単位：円）		事業概要	事業内容 (経費内訳、関連KPI)	重要業績評価指標（KPI）		実績と効果		外部有識者の意見
		内交付金額				指標	目標	実績値	事業効果	
1 ●官民連携による多面的地域振興事業（令和3～5年度）										
-1	官民連携による農業振興・産業振興・教育事業	3,500,000	1,750,000	ワイン産業振興のための地域リーダー・プレイヤーの発掘育成・学校教育等で新たな地域資源であるワイン産業を知り、産業の振興とぶどう栽培によって保全される自然環境について学ぶ機会を創出する。	官民連携による農業振興・産業振興・教育事業 負担金3,500,000円 【関連KPI：①、②】	①本事業で育成される地域リーダー数	① 2人	① 14人	A 地方創生に非常に効果的であった	・KPIのうち「上田市公式Facebookフォロワー数」は次年度以降の目標数値を上方修正すべき。
-2	「上田ファン」づくり推進事業	17,957,810	8,978,905	様々な機会・メディアを通じて、当市の地域資源や魅力を首都圏を中心とした都市部へ上田ファンの獲得に向けたプロモーションを展開する。 当市の地域資源や魅力を市民と共有し、官民連携により市民にも魅力発信に参画してもらう仕組みづくりや市民参加型のプロモーションを実施する。	「上田ファン」づくり推進事業報償費9,000円、 役務費1,312,960円、 委託料16,635,850円 【関連KPI：③、④】	②教育関連事業参加者数	② 90人	②116人		
						③市公式Facebookフォロワー増加数	③100人	③123人		
						④魅力発見イベント（フォトコンテスト等）応募数	④ 60人	④488人		
2 ●事業承継・M&A支援と連動したIoT等導入推進事業（令和2～4年度）										
-1	事業承継・M&A支援事業	678,770	339,385	後継者不足や経営上の問題等から、事業継続を断念しようとしている事業者に対し、民間企業と連携し、民間のノウハウとシステムの活用により、地域内での親族内承継、親族外承継、並びに移住者等の第三者承継の増加を目指すなど、市内事業所の事業承継・M&Aの支援を円滑に行う。	事業承継・M&A整備事業 委託料678,770円 【関連KPI：②】	①製造業付加価値額	①2,286億円	①未集計	B 地方創生に相当程度効果があった	・地方創生にとって働く場所の確保は重要であり、これら支援事業の事業費増額も検討すべき。 ・中小零細企業にとって電子帳票等の取扱事務負担が大きい。セミナー開催やコンサル導入費用の補助など、引続き地域に根差した支援を期待する。
-2	中小企業IoT等導入支援事業	425,000	212,500	AI・IoT等の基礎知識習得・導入に関するセミナーを実施し、中小企業に先進技術活用に対する意識啓発と導入メリットを周知する。またIoT等導入支援につながる導入計画策定、外部業者からの技術指導などの専門家経費やソフトウェア開発等に対する助成制度を創設。 先進産業の集積地上田に向けて、国・首都圏IT企業等と連携し、IoT等導入モデル事例創出に向けた研究会を開催するとともに、市内参加企業への現地視察、課題整理・解決に向けたIoT等システム導入検討や効果計測等を実践で行う。	中小企業IoT等導入支援 事業補助金425,000円 【関連KPI：①、③】	②中小企業事業承継・M&A支援件数	② 3件	② 11件		
						③IoT等導入補助金採択件数	③ 3件	③ 1件		

No.	交付対象事業の名称	実績（単位：円）		事業概要	事業内容 （経費内訳、関連KPI）	重要業績評価指標（KPI）		実績と効果		外部有識者の意見
			内交付金額			指標	目標	実績値	事業効果	
3 ● 「信州上田ブランド」の確立と多様な働き方創出事業（令和2～4年度）										
-1	信州上田学推進事業	4,244,382	303,200	地域への愛着や誇り（シビックプライド）の醸成を図るため、①ライフステージ（幼・保育園、小中学校、高校、大学、市民）に応じた出前講座の実施、②公立化した長野大学での「信州上田学」の推進、③持続可能な地域未来を語り合う「上田未来会議」の開催、という3つの事業を柱として展開する。	信州上田学推進事業報償費費用弁償115,540円、長野大・上田女子短大負担金4,128,842円 【関連KPI：①】					
-2	ブランディング支援事業	7,498,000	3,749,000	地元の伝統産業や農産物等を用いた商品の高付加価値化や新製品の創出を推進するため、試作品の開発、デザイン化やテストマーケティング等に関する支援を行い、商品ブランド力を高めるとともに、商品を通じた信州上田のブランド力向上を図る。	ブランディング支援事業補助金7,498,000円 【関連KPI：②】	①市内4大学等の市内就職率	①18.0%	①17.9%		B 地方創生に相当程度効果があった ・(3-1)ブランディング支援事業について、新商品の開発と併せ、市内の酒蔵の支援など、既存資源を活かす取組も必要。 ・(3-3)新規就農者支援体制整備事業について、新規就農者の確保は重要であり、事業費増額も検討すべき。
-3	新規就農者支援体制整備事業	2,394,590	927,000	首都圏の潜在的農業人材を選考・誘致し、就農に必要な農業研修（技術及び経営）等を当地域で一貫して実施することにより、新たな地域農業の担い手としてスムーズな人材育成を支援する。	新規就農者支援体制整備事業負担金2,394,590円 【関連KPI：③】	②商品開発・改良による販売金額 ③新規就農者数	②3,500千円 ③6人	②6,480千円 ③5人		
-4	農福連携事業	3,850,000	1,925,000	障がいのある方々ができる農作業の掘り起し、農家との調整や農福連携への理解を深めていただくため、説明等を行う農家側のコーディネータを配置し、障がい者支援課及び農村の構造改善の後押しを行う土地改良課と連携し、既にある福祉側のコーディネータと役割分担をすることで効果的な農福連携事業を推進する。	農福連携事業負担金3,850,000円 【関連KPI：③、⑤】	④ワインによる販路開拓件数 ⑤農福マッチング事業件数	④25件 ⑤5件	④25件 ⑤11件		
-5	ワインによる地域活性化等事業	2,883,000	1,441,500	ワイン用ぶどう栽培の好適地である特徴を生かし、千曲川ワインバレー特区連絡協議会と連携したワイン産業のPRのほか、市の独自品種としてヤマブドウ系ワイン用ぶどうの栽培研究や、苗木・資材購入補助による新規就農者拡大に向けた取組により、ワインによる地域ブランド創出を図る。	ワインによる地域活性化等事業補助金1,283,000円、負担金1,600,000円 【関連KPI：④】					

No.	交付対象事業の名称	実績（単位：円）		事業概要	事業内容 （経費内訳、関連KPI）	重要業績評価指標（KPI）		実績と効果		外部有識者の意見
		内交付金額				指標	目標	実績値	事業効果	
4 ●産官学金医連携による次世代イノベーション産業創出基盤整備事業（令和元～3年度）										
-1	IT技術者育成事業	1,980,000	990,000	あらゆる産業において、AI・IoT等の活用により新たなサービス・ビジネスが立ち上がり、事業構造が変革している。このような変革はDXと呼ばれ、どの企業においても重点経営課題として議論されており、この実現に向けた人材育成を行う。	IT技術者育成事業委託料 1,980,000円 【関連KPI：①】					
-2	地元温泉街空き店舗創業・改修支援事業	3,323,000	1,661,500	重要な観光拠点の一つである地元の温泉街において空き家・空き店舗等の活用を促すことで、観光客が楽しめる魅力ある温泉街づくりを促進するとともに、温泉街での新規創業や出店拡大を支援し、多様な働き方の創出や雇用拡大を図る。	地元温泉街空き店舗等活用支援事業補助金 3,323,000円 【関連KPI：①、②】					
-3	産官連携雇用創出事業補助金	26,452,000	13,226,000	ものづくり関連企業が取り組む、既存技術の応用による成長産業への進出や新分野への進出を目指し業績拡大に向けた事業を金融機関の融資と協調し支援することで、雇用創出に繋げ、市内経済の活性化を図る。	産官連携推進事業補助金 26,452,000円 【関連KPI：①】					
-4	新技術等開発事業	14,307,000	7,153,500	市内の意欲ある中小企業者等が実施する新技術の開発や新産業の創出のための研究開発に要する経費の一部を助成することにより、新技術取得やイノベーションの創出等を促進と地域産業の振興及び活性化を図る。	新技術等開発事業補助金 14,307,000円 【関連KPI：①】	①次世代産業創出に向けた製造業等の付加価値額（東信州）	①4,980億円	①未集計		
-5	東信州連携産業振興事業	10,500,000	5,250,000	東信州エリアの10市町村の広域連携によるスケールメリットを活かし、産学官連携を核とした次世代産業の創出による産業活性化を図る。	東信州連携産業振興事業負担金10,500,000円 【関連KPI：①、②】	②次世代産業創出に向けた開発プロジェクト立上げ数	②2件	②2件		
-6	基幹産業支援体制整備事業	19,467,334	9,733,667	基幹産業である「ものづくり産業」の成長のため、中小企業が限られた資源や強みを活かし同業種グループで連携、販路拡大等に取り組む、域外から外貨獲得と域外流出防止のシステムを作る。市内製造業が抱える課題の解決に向け、コーディネーターの伴走支援や専門家派遣等の相談体制の充実及び首都圏等の展示会ブースでの販路拡大の機会等を図る。	ものづくり企業相談体制整備事業委託料 13,000,000円、基幹産業支援体制整備事業委託料 6,467,334円 【関連KPI：①、②】	③移住希望者就業相談による移住者数及び就業支援により雇用された地域若者・女性等の数（H28～の延べ数）	③115人	③183人	B 地方創生に相当程度効果があった	・（4-3）産官連携雇用創出事業補助金について、中小企業にとって申請の負担が少なく好評である。課題を見直しながらの継続を期待する。 ・市内企業の支援も重要だが、地方創生のためには企業誘致の事業も検討すべき。 ・未集計のKPIがあるが、事業評価を効果的に進めるため、評価しやすい指標設定を検討すべき。
-7	UIJターンと地域若者等定住就職支援事業	23,733,888	8,843,064	首都圏等での移住相談会でUIJターン希望者のための就業相談窓口を開設。ワーク等で地域の総合的な就職情報を一体的に提供するとともに、希望者には地域企業の見学や職場体験研修の場を提供。また様々な事情により職に就けない地域の若年求職者を対象に、基礎研修と職場体験研修を実施し雇用のマッチングによる正規雇用と地域定住を促す。	UIJターンと地域若者等定住就職支援事業委託料 23,733,888円 【関連KPI：③】	④長野大学の就職決定者に占める市内就職者の割合	④19.28%	④11.68%		
-8	地元・首都圏等学生地域企業就職促進事業	1,842,500	921,250	首都圏等に転出している上田市出身の学生や市内の学生が、就職先として上田地域を選択できるよう、地域や企業の魅力発信、インターンシップ等によるマッチング強化を図る。	地域・首都圏等学生地元就職促進事業委託料 1,842,500円 【関連KPI：④】					
-9	サテライトオフィス開設促進事業	4,500,000	2,250,000	ICT技術の進歩に伴い、企業等が取り組むワークライフバランスの充実や多様な働き方の推進が進む中で、市外の企業が地方におけるメリットを活かしたり、企業誘致による地域経済の発展を図る。	サテライトオフィス開設促進補助事業補助金 4,500,000円 【関連KPI：①】					
-10	まちなかキャンパス運営事業	7,836,339	3,918,169	中心市街地の空き店舗に「まちなかキャンパスうえだ」を設置、運営は長野大学に委託し、市内5大学等が連携して事業を実施。学生によるゼミ等での商店街の課題解決活動、社会人等を対象とした市民向け講座開催、大学の情報発信など地域に開かれた大学とすることなどにより、地域・企業・学生が出会える機会を創出する。	まちなかキャンパス運営事業委託料5,460,339円、賃借料2,376,000円 【関連KPI：④】					
		事業費計	内交付金計							
		157,373,613	73,573,640							